



B 22

2669



臨本ヲ撰フハ教授
區若シテ誤リテ後
以テ児童ヲ苦マシ
三之ヲ厭忌不仕念

最良最善最要最速
最簡最便最易最速
最良最善最要最速
最簡最便最易最速

ヲ画字ノ教授法ニ基キ總テ卑野ナルヲ避ケ愛
スヘキヲ採リ解シ難キヲ去リ目ニ慣レタルヲ
集メ平易簡單ナルヲ主トシテ一ニ児童ノカニ
適セシトヲ務メタリ故ニ夫ノ杜撰ニ集寫シテ
教授法ノ順序ヲ紊リ若クハ洋版ヲ翻刻シ
テ其精神ヲ失フノ類トハ識者自ラ其異ナ
ル所アルコトヲ知ル可シ

一第一編ヨリ第七編ニ至ルマテ木版ヲ用ヒ
第八編ヨリ以下石版ヲ用ルハ初學ノモノ
入門ノ際ハ筆ヲ使フコト堅固ニシテ明白ナ

ラシムルコトヲ習熟セシノ稍々運筆ノ自在ヲ得ルニ及ンテ線條ヲシテ韻致ヲ生セシメント欲スレハナリ

一此編名称ヲ掲クルモノハ傍ラ洋語ヲ挾ミテ臨画ノ際傍ラ單語ヲ習熟センメント欲ス是又編者ノ微意ノミ

一此編頗ル外貨ヲ裝フコトヲナサス專ラ簡畧ヲ主トセルハ山村僻邑ニ至ルマテ画學ノ功ヲシテ洽子カラシメント欲スレハナリ

明治十九年二月 編者識

臨畫心得

一画ヲ臨スルニハ須ラク原本ニ模倣シテ分毫モ違ラザル可ラス

一画紙ハ臨本ト同状ノモノヲ用フヘシ若シ紙幅ヲシテ放
大オシムル片ハ畧其比例ヲ同ウスヘシ但シ其大サヲ
臨本ヨリ縮小セサルコトヲ要ス

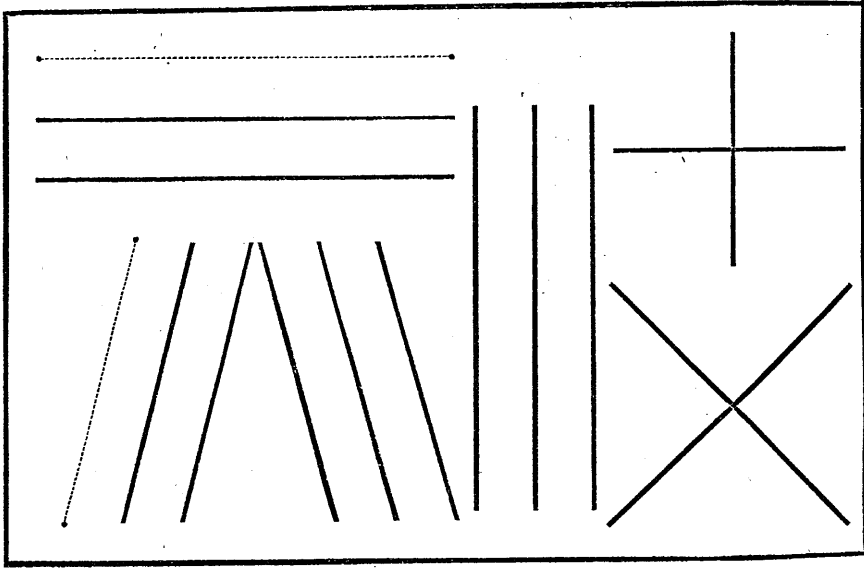
一總テ画ヲ臨スルニハ先ツ虚線ヲ以テ其位置形狀ヲ
定メ次ニ大体ヲ組立ル所ノ諸線ヲ画キ而テ細小
ノ部ニ及ホス可シ然ル後彈性脂ヲ以テ一同ニ揩拭僅
ニ筆痕ヲ餘スヲ以テ度トナシ然ル後實線ヲ施スヘシ
一虚線ヲ画クニハ其實稍々坚硬丸鉛筆ヲ尖銳ニシ
筆ヲ使フコト輕カラシメテ麁麁或ハ彈性脂ヲ以テ揩
拭シ易カラシム可シ

一筆ヲ下タスハ左ノ方ヨリ始メ漸次ニ右ノ下方ニ画キ終
ルヘシ然ラサレハ運筆ノ際紙面ヲ穢スニ至ル可シ

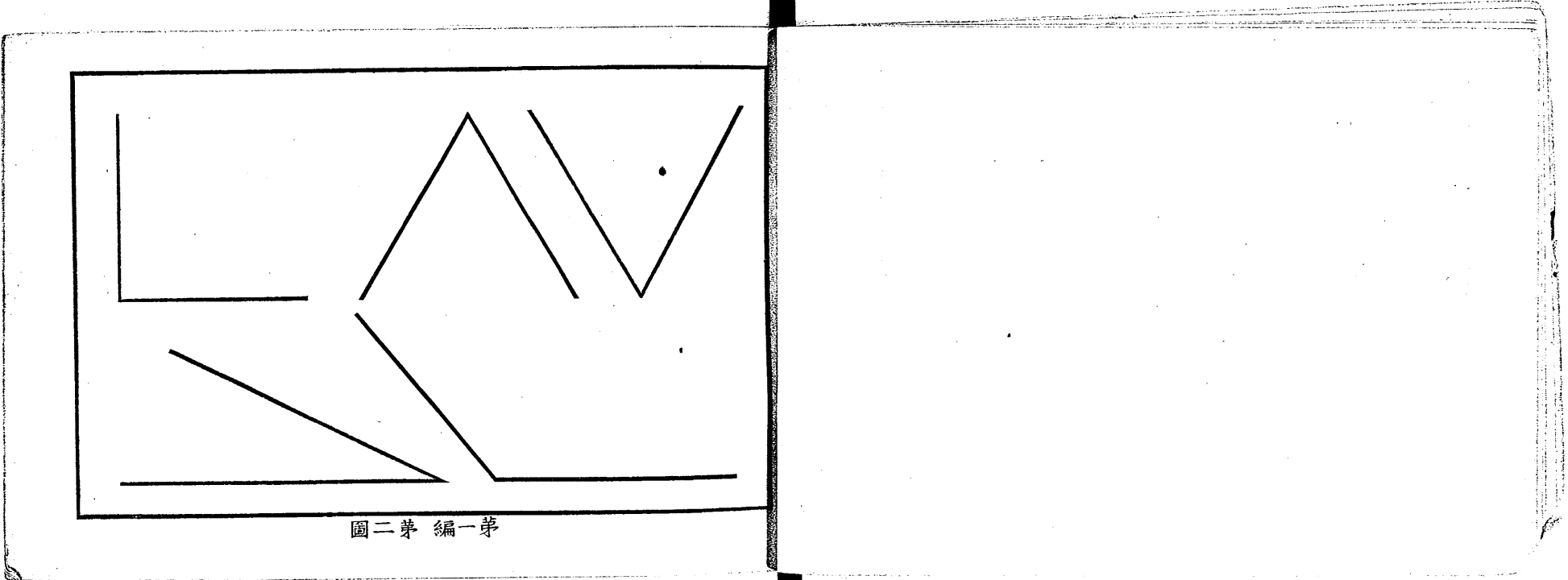
一筆ヲ執ル宜シク直立ナラシム可シ若シ之ヲ傾ケテ
 其側辺ニ於テ画ク一ヲナセハ線條薄弱ニテ生氣ヲ
 失フ可シ

一 直線ヲ画クニハ先ツ其引ント欲スル両端ニ標点
 ヲ記シ虚線ヲ以テ精密ニ其方向ヲ定メ然ル後
 實線ヲ施ス可シ

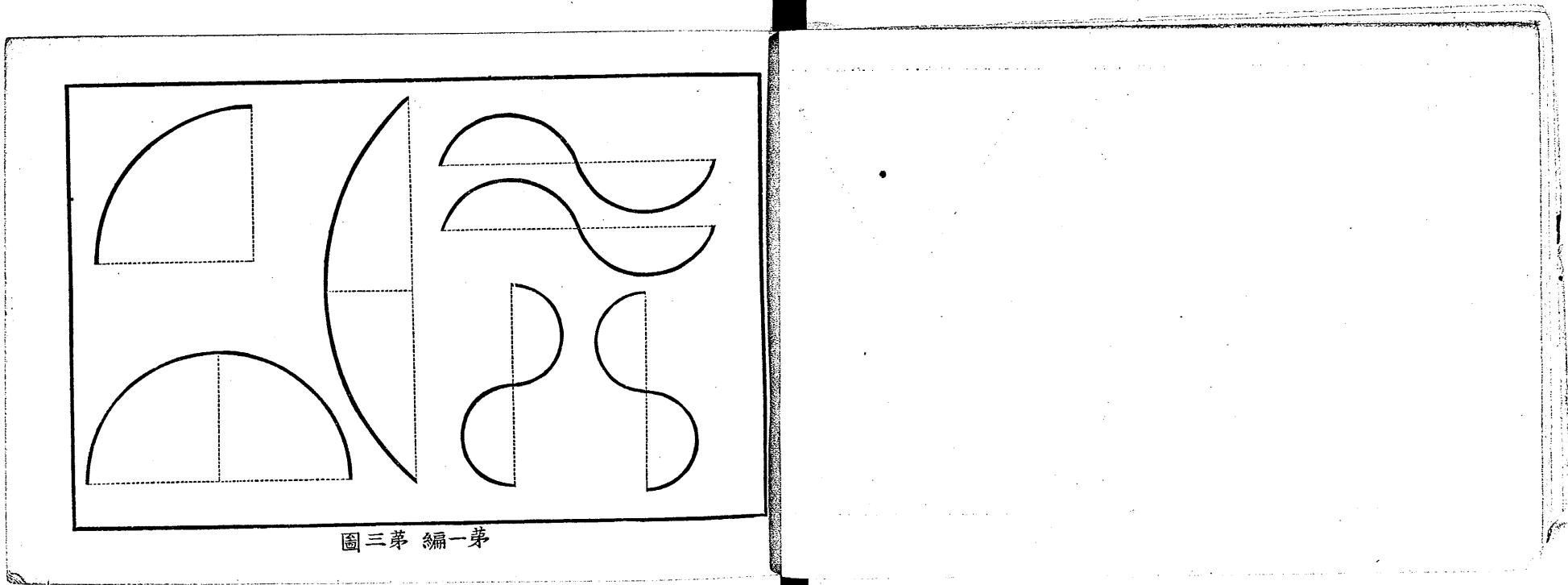
一 曲線ヲ画クニハ總テ直線ヲ基礎トナス可シ例
 へハ四角ヲ画カント欲スレハ先ツ其縱横徑ヲ引
 キ又其四端ニ直線ヲ引キテ正方形ヲ作り然ル後
 四線ヲ画ク可シ然ルモ猶其方向ヲ誤リ易キモノナ
 レハ緊要ノ部ニ於テ猶若干ノ直線ヲ施スヲ以テ
 可ナリトス



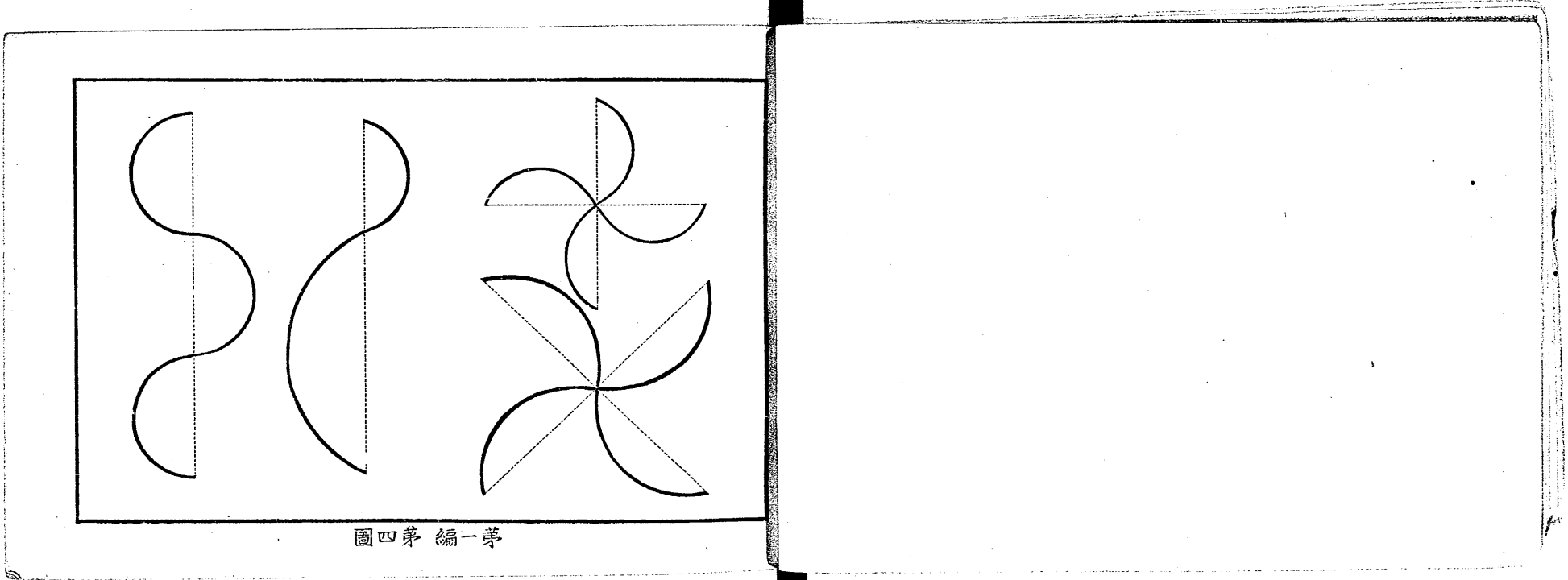
第一編 第一圖



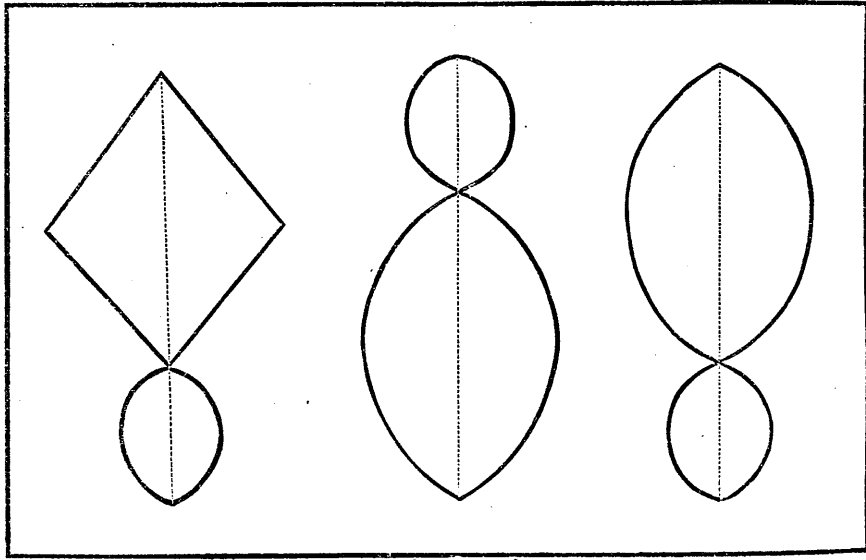
圖二第 編一第



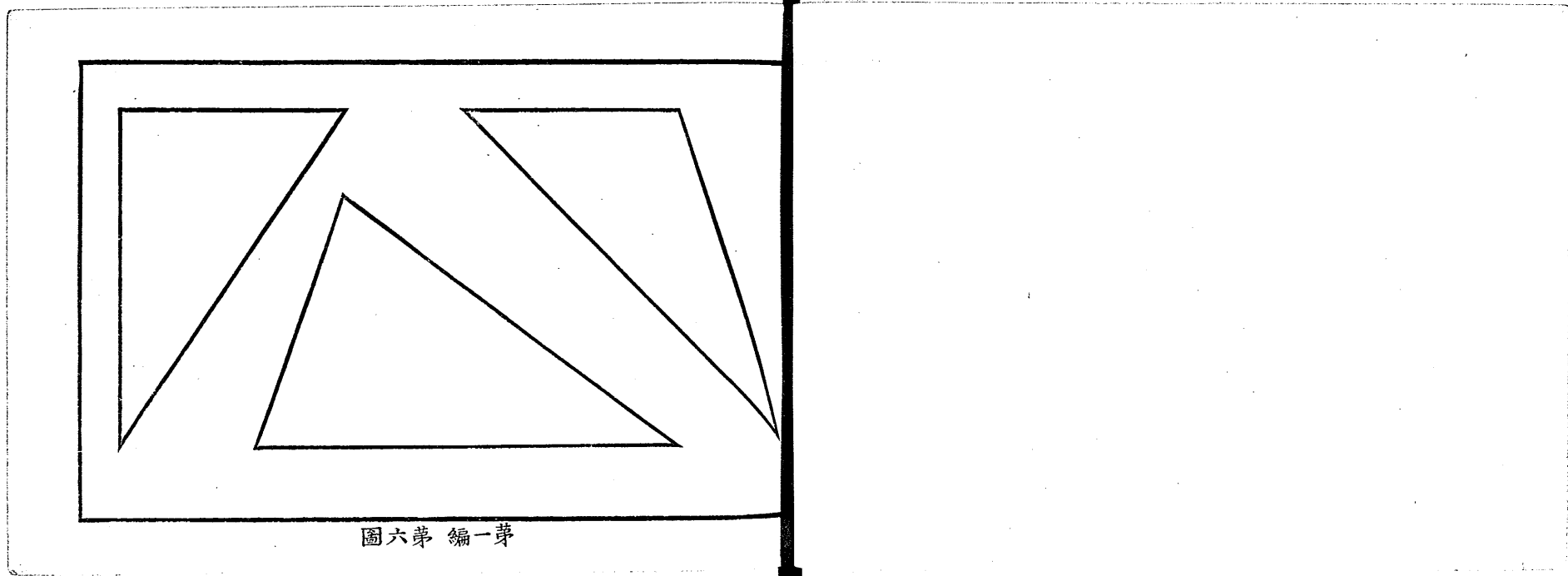
圖三第 編一第



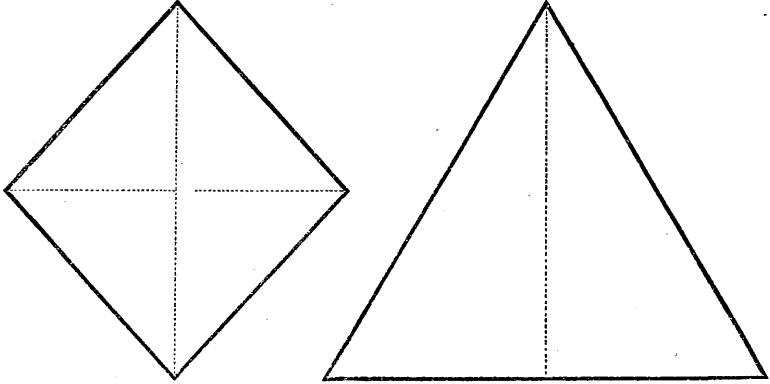
圖四第 編一第



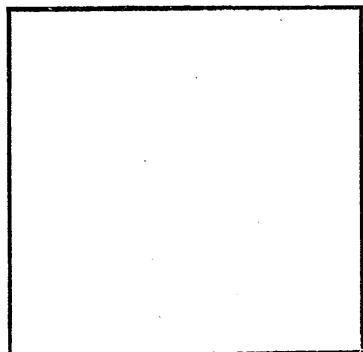
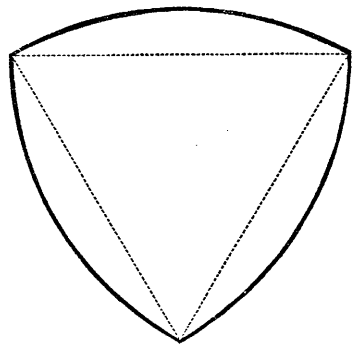
圖五第 編一第



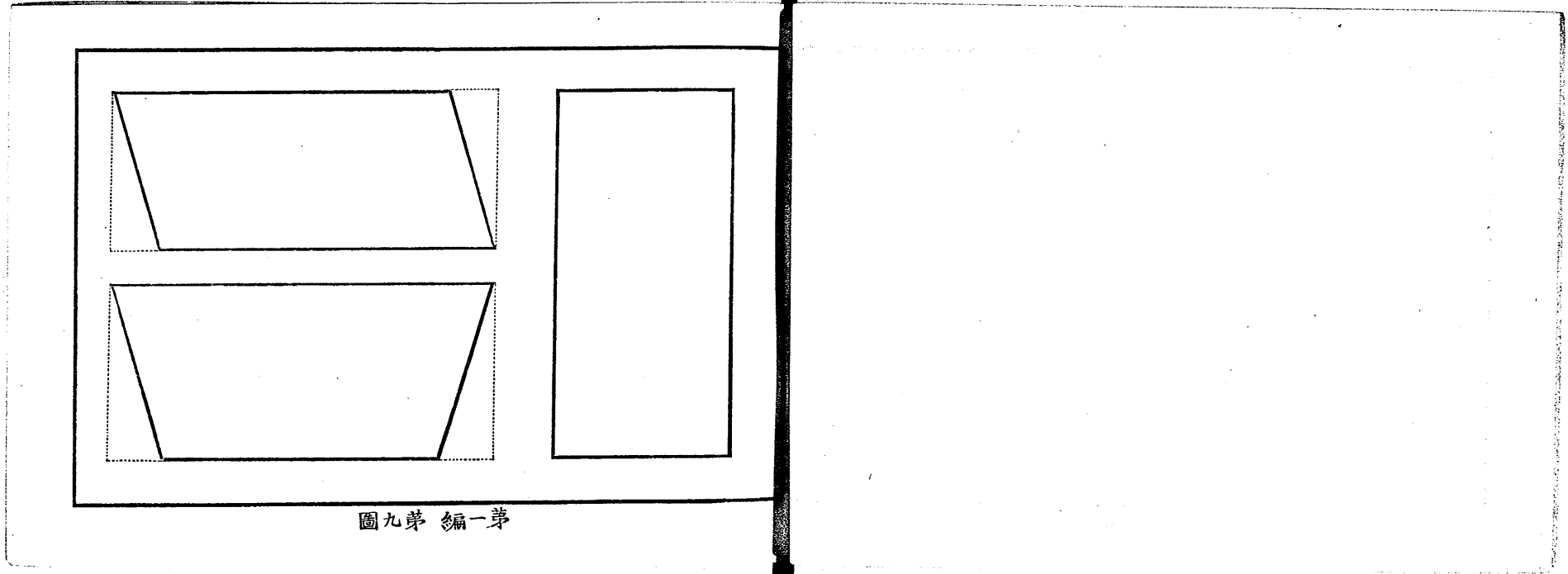
圖六第 編一第



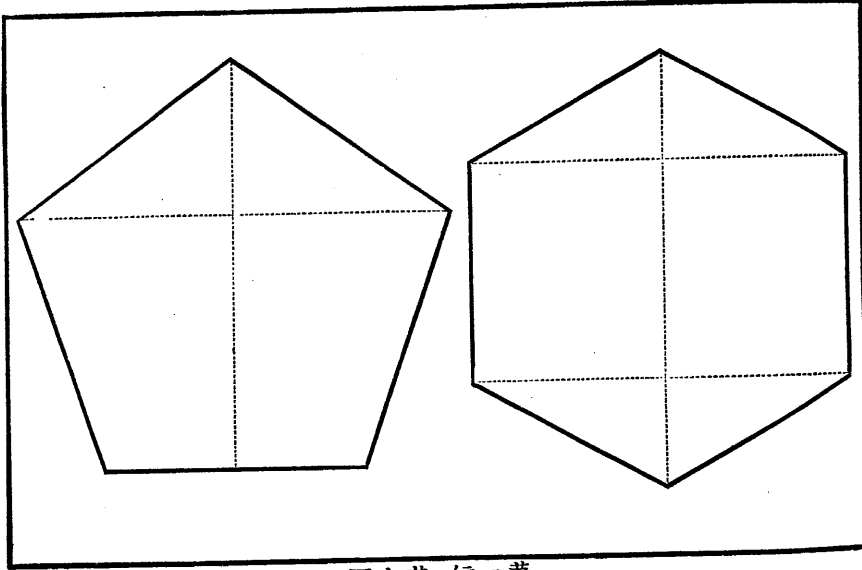
圖七第 編一第



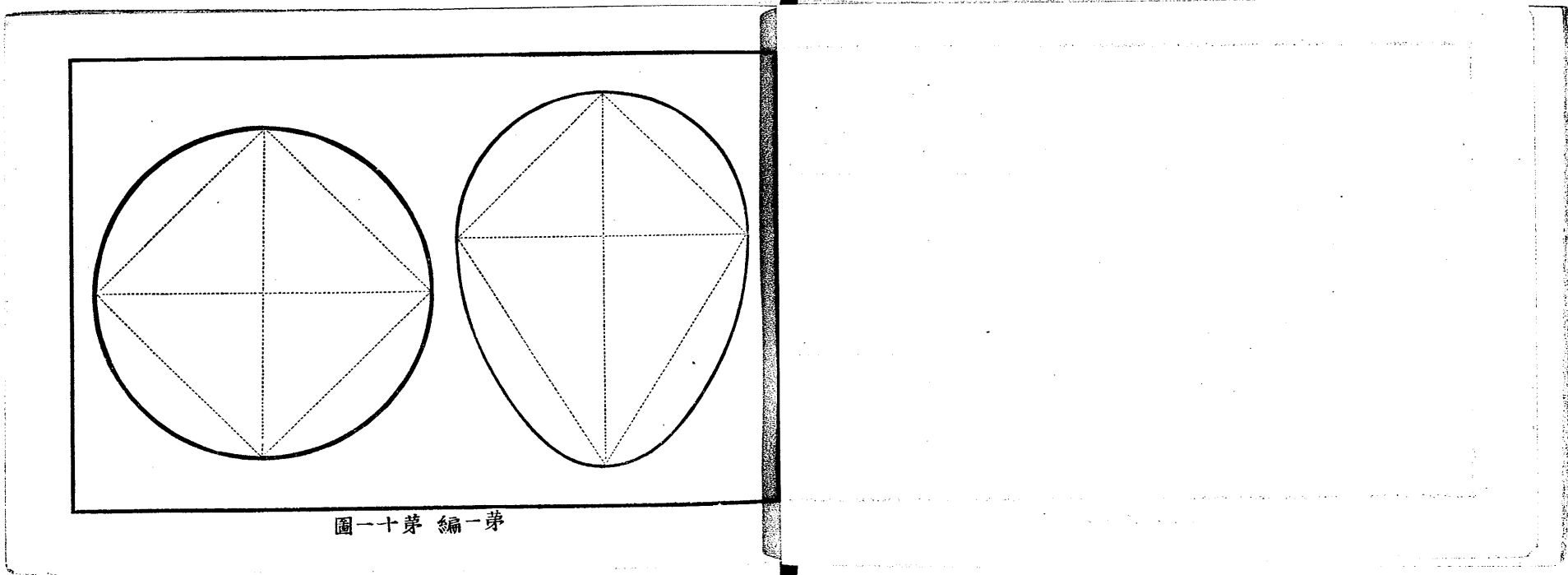
圖八第 編一第



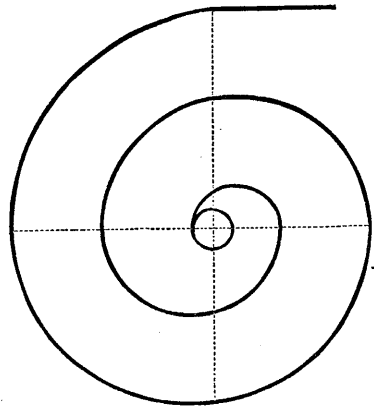
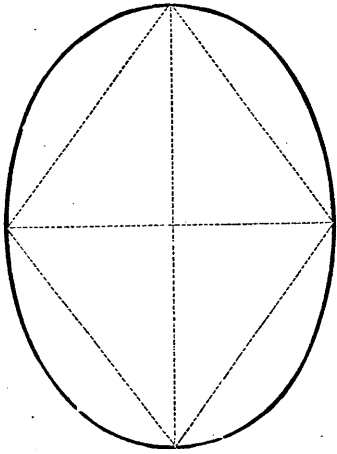
圖九第 編一第



圖一 第一編



圖一十 芽 編一第



圖二十第 編一第



全篇目次

- 第一編 直線曲線及單形
- 第二編 紋画
- 第三編 花葉前画 畧具前画
- 第四編 畧具前画 畧画
- 第五編 家屋橋梁寺前画畧画
- 第六編 畧具輪廓畧画
- 第七編 全前
- 第八編 家屋橋梁寺輪廓畧画
- 第九編 畧具施影畧画
- 第十編 花卉施影畧画
- 第十一編 異物施影畧画
- 第十二編 樹畧画
- 第十三編 景色畧画
- 第十四編 全前
- 第十五編 禽獸虫魚畧画
- 第十六編 人物畧画

明治十九年一月廿三日版權免許

全 出 東京府士族

本 著者 本 友 錦 吉 郎

牛込區新小川町二丁目七番地

出版人

全

榎本 徹之助

神田區雉子町二番地

